

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
地歴公民	歴史総合	2	一斉	共通	1

教科書（発行所）	詳述歴史総合（実教出版）
教科書以外の教材	1 詳述歴史総合 マイノート（実教出版） 2 新詳歴史総合（浜島書店）

目 標		1 世界と日本との深いつながりを学び、歴史がつねに動いていることを知る。 2 近現代の歴史を「近代化」「大衆化」「グローバル化」の観点に着目し、世界と日本の動きを学ぶ。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	A 歴史の扉	(1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料	
		B 近代化と私たち	(1) 近代化への問い (2) 結びつく世界と日本の開国 (3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題	中間考查 期末考查
	2 学期	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	実力考查 中間考查 期末考查
	3 学期	D グローバル化と私たち	(1) グローバル化への問い (2) 冷戦と世界経済 (3) 世界秩序の変容と日本 (4) 現代的な諸課題の形成と展望	実力考查 学年末考查
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 教科書・整理ノート・資料集を準備する。 2 説明を集中して聞き、ノートに板書事項を写しながら、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。 3 ノートが、考查の主な出題範囲になるので、後から復習で活用できるようにまとめる。 4 発問に対して、自分の考えをまとめて発表する場面がある。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	諸資料から読み取り、それぞれの単元について、理解している。また、諸資料から情報を適切に読み取ったり、まとめている。 (定期考查)	知識・技能を利用して、政治変革の特徴、社会の変容・地域の動向や影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。また、主題や問いを表現している。 (定期考查の論述問題) (発表・討論)	それぞれの単元について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。また、学習を振り返り、課題を追究しようとしている。 (定期考查の論述問題)
評価の方法	授業時の観察（授業に臨む姿勢や意欲及び発問に対する答えの内容）や定期考查を総合的に評価します。歴史総合で身につけるべき能力をまんべんなく評価します。そのため、考查以外の普段の取り組みも評価の対象になります。世界と日本が緊密に結びついていることを知るために、日々のニュース等から得た知識をどのように活かすか、何ほどのような影響があるか等に着目できる技能にもとづいた思考力・判断力・表現力を問う。 （具体例） 1 我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に課題を追究し、その在り方について考察しようとしているか。 2 我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できているか。 3 我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用する力があるか。		